

ワクチン接種についてのよくある質問

(問) ワクチンは必ず接種しないといけませんか？

(答) 強制ではありません。ご自身で納得した上で、接種する・しないを決めてください。
また、2ページ目の予防接種を受けることができない・注意が必要な人に該当すると思われる場合は、あらかじめかかりつけ医に相談しましょう。

(問) 接種はいつまで無料で受けられますか？

(答) 令和4年2月28日までは無料で受けられます。その後については未定です。

(問) 入院・施設入所の場合は、クーポン券はそちらに送っていただけますか？

(答) 可能です。相談窓口までご連絡ください。
なお、3月5日時点で町内の施設に入居・入所している65歳以上の方で、接種を希望された方には、施設にお送りしています。

(問) 優先接種の時期に接種しなかった場合、その後は受けられなくなるのですか？

(答) 優先接種の時期が過ぎても、令和4年2月28日まで受けられます。

(問) 接種したらもうコロナに感染する心配はないのですか？

(答) 必ず感染を予防できるわけではありません。接種後もこれまでと同じように感染防止に努めてください。

(問) 町外（新宮市など）の医療機関で接種したいのですが、受けられますか？

(答) 医療機関が個別接種に対応していれば接種を受けることはできますが、手続きが必要な場合があります。町外の医療機関での個別接種の取り扱いについては詳細がわかりしだい広報等でお知らせする予定です。

(問) 住民票は那智勝浦町にありますが、町外に住んでいる場合、町外で接種は受けられますか？

(答) 受けられますが、手続きが必要な場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

ワクチン接種に関する相談窓口について

新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談窓口を設置し、接種に関する手続きの案内や相談などをお受けしています。

開設日時： 平日 月曜日～金曜日（祝祭日は除く） 9時00分～17時00分

設置場所： 那智勝浦町役場 1階会議室（期日前投票の場所）

専用電話番号： (0735) 29-6137

※ 時間帯によっては繋がりにくくなるのが予想されますので、ご了承ください。

※ 厚生労働省においてもワクチン接種に関する相談窓口を開設していますので、ご利用ください。

【厚生労働省 新型コロナワクチンコールセンター】

電話番号：(0120) 761-770（フリーダイヤル）

受付時間：9時00分～21時00分（土日・祝日も実施）

新型コロナウイルスワクチン接種のご案内

75歳以上の方にお送りしています

新型コロナウイルスワクチン接種対策室

4月19日（月）から接種を開始します

4月19日（月）から体育文化会館で集団接種を開始します。

最初はワクチンの供給量が少ないため、希望された方全員がすぐに接種できるとは限らず、お待ちいただく場合があります。

接種を希望される方は、この説明文をよくお読みいただき、お申込みください。

なお、医療機関での接種は、ワクチンの供給量がある程度見込めた時点で開始します。ご案内までもう少しお待ちください。

ワクチン接種までのながれ

体育文化会館での集団接種を希望される方

① 同封の集団接種希望票を返送する

◆ 集団接種を希望される場合は、本状に同封の「集団接種希望票」に必要事項を記入し、返信用封筒に入れて郵送してください。

② 役場から接種日の案内を受け取る

◆ ワクチン接種の準備ができ次第、役場から接種日（1回目、2回目）の案内と予診票を郵送でお送りします。

◆ 提示した接種日で都合が悪い場合は、ワクチン接種に関する相談窓口（☎ (0735) 29-6137 平日 9:00～17:00）までお問い合わせいただき、日程の再調整をしてください。



③ 指定された日時に体育文化会館で接種する

当日の持ち物

- ・クーポン券（このお知らせに同封されています）
- ・本人確認書類（健康保険証、マイナンバーカード、運転免許証等）
- ・予診票（接種日の案内文書に同封されています）
- ・（薬を日常から服用されている方）お薬手帳

※接種にあたっての注意事項は、3ページの留意事項をご覧ください。

町の指定する医療機関で接種を希望される方

町が指定する医療機関での個別接種の開始時期や予約方法については、準備ができ次第、町広報等でお知らせします。個別接種を希望される方はもうしばらくお待ちください。

ファイザー社製ワクチン接種の効果と注意事項

ワクチンの効果

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっており、発症予防効果は約95%と報告されています。
- ◆ 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経過以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

ワクチンの接種回数

- ◆ 2回接種となります。
※ 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。

予防接種を受けることができない人

- ◆ 明らかに発熱している人（※1）
 - ◆ 重い急性疾患にかかっている人
 - ◆ 本ワクチン成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
 - ◆ 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人
- （※1）明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。
- （※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるにあたり注意が必要な人

- ◆ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
 - ◆ 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
 - ◆ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
 - ◆ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
 - ◆ 過去にけいれんを起こしたことがある人
 - ◆ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
 - ◆ 妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。
- ※ 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

副反応について

- ◆ 主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

接種を受けた後の注意点

- ◆ 万が一副反応が起こった際に速やかに対応するため、ワクチンの接種を受けた後、15分以上接種を受けた施設でお待ちいただきます。
(過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上お待ちください。)
お待ちいただいている間に体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- ◆ 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- ◆ 当日の激しい運動は控えてください。

予防接種健康被害救済制度について

- ◆ 予防接種を受けた後に健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要なとなる手続きなどについてはお住まいの市町村にご相談ください。

出典：厚生労働省資料より抜粋したものです。

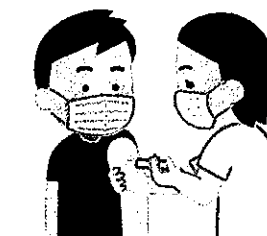
接種券をお送りする順番

以下の順番で接種券（クーポン券）をお送りする予定です。

- ① 75歳以上の方： 3月下旬
- ② 65歳以上の方： 3月下旬～4月
- ③ 上記以外の方： 後日広報等でお知らせします。

ワクチン接種にあたっての留意事項

- ◆ 接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、予約先に連絡のうえ、接種を控えてください。
- ◆ 同封されたクーポン券は、2回分の「接種券」や「予防接種済証」が1枚になっています。毎回、切り離さずに台紙ごとお持ちください。
- ◆ 予診票はご自宅でご記入（わかる範囲で結構です）の上ご持参ください。記入に際してご不明な点があれば当日会場もしくは相談窓口までお問い合わせください。
- ◆ ワクチンは上腕の筋肉部分に接種しますので、肩を出しやすい服装でお越しください。
- ◆ 接種後の副反応の有無の観察のため、15分～30分会場で待機していただきます。



肩を出しやすい服装でお越しください。

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

ファイザー社製

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは16歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約95%と報告されています。）

販売名	コミナティ [®] 筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	2回（通常、3週間の間隔） ※筋肉内に接種
接種対象	16歳以上（16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	1回0.3 mLを合計2回

- 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。（接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。）
- 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1） 明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2） アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 当日の激しい運動は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種によりmRNAがヒトの細胞内に取り込まれると、このmRNAを基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	◇ トジナメラン（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードするmRNA）
添加物	◇ ALC-0315：[(4-ヒドロキシブチル)アザンジル]ビス(ヘキサソ-6,1-ジイル)ビス(2-ヘキシルデカン酸エステル)
	◇ ALC-0159：2-[(ポリエチレングリコール)-2000]-N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	◇ コレステロール
	◇ 塩化カリウム
	◇ リン酸二水素カリウム
	◇ 塩化ナトリウム
	◇ リン酸水素ナトリウム二水和物
	◇ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。